

平成30年度教育研究業績書

氏名 酒井 高正

最終学歴	京都大学大学院文学研究科修士課程修了	
取得学位	文学修士	
所属学会	日本地理学会、人文地理学会、日本人口学会、地理情報システム学会、日本都市学会、近畿都市学会、奈良地理学会	
専門分野	人口地理学、地理情報システム(GIS)	
研究課題	GISを利用した人口統計などの分析	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・地理学講読・調査法(七)(通年) ・地理学演習(七)(通年) ・地理学卒業演習(七)(通年) ・地理情報システムI(前期) ・地域分析法(後期) ・GIS基礎実習(前期) ・GIS基礎講座(後期)
	大学院修士課程担当科目(博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・人文地理学演習V[受講者なし] ・人文地理学演習VI[受講者なし] ・人文地理学演習VII ・人文地理学演習VIII ・先進地域特論I ・先進地域特論II
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	・地理情報システム
【研究上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域統計データのGISによる活用法の考察を行いつつ、2022年度より高等学校において「地理総合」が設置されるのに向け、GISを活用して教育現場を支援する方法の検討を進めた。 ・総合研究所特別研究「王寺町における購買行動の実態と買い物困難者対策」において、統計データ処理関係の検討を担当した。 	
【教育上の特記事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間外の教育活動として、下記のような巡検等を実施した。 3年次対象(長期宿泊巡検)東京の近現代と筑波研究学園都市の現状および国土地理院、日本地図センター、JAXAの見学(10月1日～5日) 3年次対象(学外研修)生駒市高山地区：関西学研都市高山地区の現状と伝統産業および都市学会の研究発表聴講(12月9日、近畿都市学会エクスカッションおよび秋季大会への参加) 2年次対象(日帰り巡検)奈良県天理市：宗教都市天理の発展史と北米先住民族の文化(5月27日) ・情報処理センター兼任教員として情報処理センターの運営および情報教育の充実のために努力した。 ・日本地理学会「地域調査士」資格の奈良大学文学部地理学科における論文審査者として、地理学科学生の資格取得促進に努めた。 	
【社会的活動】	<ul style="list-style-type: none"> ・地理空間情報活用推進に関する近畿地区産学官連携協議会委員(国土地理院より委嘱) ・近畿圏の有識者によるデータ利活用ネットワーク委員(和歌山県より委嘱) ・日本都市学会常任理事 ・近畿都市学会理事 ・平成30年度奈良大学教職員研修支援オープン講座講師(8月6日) ・高等学校でのGIS関係模擬授業(滋賀県立大津高等学校 5月22日、奈良県立西の京高等学校 1月23日) 	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	情報処理センター兼任教員、全学人事委員会委員長、学校法人ネットワーク委員会委員長、情報処理センターシステム検討ワーキンググループ委員長、紀要編集委員会委員、サイクリング倶楽部顧問	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①				
②				
③				
④				
(学術論文)				
①				
②				
③				
④				
(学会発表)				
①近畿圏の人口男女比の地域性	共同	2018年7月	近畿都市学会2018年度春季大会	近畿圏における性比の年齢別差異を、大小さまざまな地域スケールの統計データから分析した。(筆頭報告者:服部成男)
②				
③				
④				
(その他)				
①食料品販売店舗と高齢者分布の空間分析の試み	単著	2019年1月	「王寺町における購買行動の実態と買物困難者対策」研究成果報告書	メッシュ統計を中心とする国勢調査データと、食料品販売店舗の空間データを、GISを用いて統合分析し、王寺町における高齢者の買物困難状況を推察した。
②				
③				
④				